



心をかたちに 図工展

保護者や地域のみなさまには大変お忙しい中、22日（水）・23日（木）に開催いたしました図工展に、多数お越しいただきました。心より厚くお礼申し上げます。図工展はいかがだったでしょうか。この二日間、まるで体育館が美術館に様変わりしていたように感じられました。

今回の図工展のテーマは、「わくわく なにわ美術館」でした。各学年の子どもたちが心を込めて創り上げてきた作品の数々が展示され、それぞれの作品に子どもたちの思いが詰まっていました。どんな色にしようか？模様は？全体のバランスは？などと子どもたちがあれこれと考えをめぐらし、試行錯誤を繰り返しながら作品を完成させていきました。なかにはどうしてもうまくいかず、一から作り直した作品もあります。作品を完成させるまでの過程において、どれだけ多くの思いをもって一つの作品と格闘し、心・頭・体をどれだけ駆使して完成させたことでしょうか。その思いや努力のあとを感じ取っていただいたならば、これ以上の喜びはありません。

子どもたちは、作品を創るに当たって、楽しさだけでなく難しさも感じたと思います。一つのことを創り上げることの素晴らしさも子どもたちが感じてくれたことだと思います。そして、作品への愛着をもって自分だけの大切な宝物にしてほしいものです。ぜひ、持ち帰った作品をご家庭のどこかに飾ってほしいと思います。5・6年生にとっては小学校生活最後の図工展となりました。いつまでも忘れず心に留めてもらいたいと思います。

今週はマラソン大会があります。11月30日には1年生が本校で、12月1日には2～6年生がベイコム陸上競技場で行います。どうか、今後とも難波小学校の教育活動へのご理解とご協力ご支援をお願いいたします。